

・平成 24 年度放射線による健康不安の軽減等に資する人材育成のための研修

宮城県 第 3 回

実施日時	平成 25 年 3 月 5 日(火)13:00～16:40
実施場所	仙台国際センター 白樺 1
対象者	・宮城県内の市町村の保健医療福祉関係者 ・宮城県内の市町村の教育関係者 ・その他、住民から放射線による健康影響等に関して相談を受ける可能性のある者
参加者数	74 名

下道國先生(藤田保健衛生大学)から、放射線の健康影響と福島の状態についてご講義いただき、質疑を行った。地主明弘先生(日本放射線カウンセリング学会)から、放射線による健康不安への対応についてご講義いただき、質疑を行った。土屋智子先生(HSEリスク・シーキューブ)から、リスクコミュニケーションと市民・専門家の役割についてご講義いただき、質疑を行った



以下のような事項について質疑が行われた。

- 食品の放射能測定を何年間続ける必要があるか？

研修プログラム

時刻	実施内容
13:20～13:25	開会挨拶(環境省)
13:25～14:25	【講義 1】 放射線の健康影響と福島の状態 藤田保健衛生大学 下道國 先生
14:25～15:10	【講義 2】 放射線による健康不安への対応 東所沢病院 地主 明弘 先生
15:10～15:25	質疑応答
15:25～15:35	休憩
15:35～16:35	【講義 3】 リスクコミュニケーションと市民・専門家の役割 特定非営利活動法人HSEリスク・シーキューブ 土屋 智子 先生

16:35～16:45	質疑応答
16:45～16:55	全体質疑
16:55～17:00	閉会・アンケート記入